

東海市を取り巻く概況と 特色ある地域活動の事例

日本福祉大学
原田正樹

東海市の人口（年齢構成）

R3.4.1現在

	人数	割合	愛知県 (R2.10.1現在)
全人口	114,615人	* * *	* * *
年少人口(0歳～14歳)	16,745人	14.6%	13.2% 11/54位
生産年齢人口 (15歳～64歳)	72,190人	63.0%	61.6% 12/54位
高齢者人口(65歳以上)	25,680人	22.4%	25.2% 44/54位
前期高齢者 (65歳～74歳)	12,375人	10.8%	* * *
後期高齢者 (75歳以上)	13,305人	11.6%	* * *

東海市における福祉データ

R3.4.1現在

	項目	人数
1	出生数(R2年)	960人
2	外国人登録者数	2,181人
3	各種障害手帳所持者数	5,495人
	身体障害者手帳	3,630人
	知的障害者手帳(療育手帳)	970人
	精神障害者保健福祉手帳	895人
4	避難行動要支援者対象者数(入所者含)※	2,453人
5	生活保護受給世帯	652世帯
6	民生委員・児童委員数	131人
7	主任児童委員数	12人

※R3.7.19現在。対象としている人数

東海市における福祉データ

R3.4.1現在

	項目	人数
8	要介護認定者	4,935人
	要支援1・2	1,323人
	要介護1・2	1,799人
	要介護3・4・5	1,813人
9	65歳以上の高齢単身者数(H27国勢調査)	3,744人
10	高齢者あんしん見守り登録者	898人
11	地域支えあい活動登録団体(R3.7.1現在)	26団体
12	サロン数(ゴムバンド含)(R3.7.19現在)	61か所
13	ボランティア登録者数(団体含)(R3.7.1現在)	143人

コミュニティあたりの平均値

R3.4.1現在

	項目	人数※1
1	出生数(R元度)	80人
2	外国人登録者数	182人
3	各種障害手帳所持者数	458人
	身体障害者手帳	303人
	知的障害者手帳(療育手帳)	81人
	精神障害者保健福祉手帳	75人
4	避難行動要支援者対象者数(入所者含)	204人
5	生活保護受給世帯	54世帯
6	民生委員・児童委員数	11人
7	主任児童委員数	1人

※1 全数を12で割った数字のため、実際の数字とは差異あり。小数点以下四捨五入。

コミュニティあたりの平均値

R3.4.1現在

	項目	人数※1
8	要介護認定者	392人
	要支援1・2	110人
	要介護1・2	150人
	要介護3・4・5	151人
9	65歳以上の高齢単身者数(H27国勢調査)	312人
10	高齢者あんしん見守り登録者	75人
11	地域支えあい活動登録団体(R3.7.1現在)	3団体
12	サロン数(ゴムバンド含)(R3.7.19現在)	5か所
13	ボランティア登録者数(団体含)(R3.7.1現在)	12人

※1 全数を12で割った数字のため、実際の数字とは差異あり。小数点以下四捨五入。

コミュニティによる違い

	多い(高い)	少ない(低い)
人口	16,585人 横須賀	4,535人 三ツ池
年少人口の割合※ (0歳～14歳)	16.2% 加木屋	11.8% 明倫
高齢者人口の割合※ (65歳以上)	28.7% 明倫	18.0% 緑陽
後期高齢者の割合※ (75歳以上)	14.6% 明倫	8.7% 緑陽

※ コミュニティごとの人口に対して、割合を求めています

コミュニティによる違い

	項目	高い	低い
①	地域活動・市民活動を身近に感じている人の割合	59.6% 渡内	39.3% 平洲
②	地域や隣同士での付き合いを大切にしている人の割合	81.6% 渡内	62.2% 船島
③	年に1回は健康診断を受けている人の割合	89.0% 名和	69.7% 緑陽
④	子育てがしやすいまちであると感じている人の割合	84.9% 加木屋南	63.6% 明倫
⑤	地域、市などが連携し、災害時に備えていると思う人の割合	73.4% 緑陽	61.8% 明倫

①～⑤ R2(2020)市民アンケート

コミュニティによる違い



	項目	高い	低い
⑥	ひとり暮らし高齢者の割合	21.5% 明倫	10.6% 大田
⑦	健康であると思う高齢者	80.0% 横須賀	71.6% 渡内
⑧	町内会・自治会への参加	53.1% 渡内	6.3% 三ツ池
⑨	ボランティアの参加	8.8% 加木屋南	1.8% 大田
⑩	サロン等の数(R3.7.19現在)	10か所 富木島	1か所 船島

⑥～⑨ 平成29年度(2017年度)高齢者実態調査

コミュニティによる活動

コミュニティ一律の活動ではなく、

それぞれのコミュニティにあった活動をする。

A 地域のニーズを知ること。

① 関係者(民生委員・児童委員、役員、ボランティア)の話を聞く。

①ー2 専門職から情報を得る。保健師さん、社協職員さん

①ー3 当事者から話を聞く。(専門職に紹介してもらう)

② 地域でアンケートをやってみる。

B 無理のない活動を企画する。(持続可能な視点と限定的な試行)

C いろいろな人に呼びかけてみる。(機会があれば参加したい)

地域での取り組み例 ①

子どもも大人も、学生さんも、おじいちゃんおばあちゃんも、みんなで交流☆

みんなの居場所 とまとのうちのご案内
～東海市子ども食堂とまと食堂～



富木島町新長口に、みんなの居場所「とまとのうち」が完成！！
開催日 毎週水曜日 10時～19時 5月12日からスタート
どなたでも参加できます(^_^)

場所：東海市富木島町新長口1-33

喫茶タイム 10時～14時
どなたでも 100円
飲み物やおやつを用意してお待ちしています。

とまとのうち夜ごはん 17時～19時
子ども(高校生まで)100円 大人300円

赤い「とまと食堂」の旗が目印です

やりたいことをやりたい分だけ
子どもも大人も、学生さんも、おじいちゃんおばあちゃんも、
アイデアを出しあって
みんなで一緒に作る「とまとのうち」



おしゃべり交流 お花を植える
お野菜を育てる 料理作り
お菓子作り 工作あそび
みんなで宿題 みんなで夜ごはんなど
一緒に楽しい時間をすごしましょう

・こども食堂

無料または低価格帯で、栄養ある食事や温かな団らんを提供する取り組み

市内2か所(2団体)が実施



地域での取り組み例 ②

・地域支えあい活動

日常のちょっとしたお手伝いから、見守り、サロン活動など、「支える・支えられる」ではなく「相互に支えあう」ような実践を自発的に行っている



(コロナ禍前に撮影したもの)



R3.7.1現在市内26団体登録あり